

長野の林業

令和元年8月10日発行
長野の林業編集委員会

No.355

もくじ



信州山の日フェスタ	1
林業総合センター研究成果発表会	2
特集	
森林・林業におけるリモートセンシング技術の活用	
再造林安く確実にを行うには	
再造林に向けたカラマツ等の種苗供給への取り組み	
マツ材線虫病被害先端地域で何が起きているのか	
カラマツ林を活用したハナイグチ増殖技術	
トピックス	
飯伊地区乾しいたけ品評会開催	4
林業就業相談会開催	
塩尻市北部交流センター「えんてらす」	5
お知らせ	
木工工作コンクール募集	6
県森連だより	7
長野県の木材市況	8



令和元年7月28日(日)に「信州山の日」フェスタin駒ヶ根が開催されました。

第十三回研究成果発表会を開催しました

長野県林業総合センターでは、最新の研究成果を発表するため、平成十七年度から研究成果発表会を開催しています。第十三回目となる今回は、六月十八日に塩尻市のレザンホールを会場として開催し、県内外から約百八十名の皆様にご参加いただきました。

今年度は「これからの森林管理と山づくりを考える」と題し、県内の森林資源を積極的に活かす時代であることを受けて、当センター育林部の研究成果を中心に口頭発表で報告しました。あわせて、センター職員がそれぞれに取り組んできた調査研究や普及成果に関しては、ポスター発表で報告し、参加者との意見交換を行いました。

本号では当日の概要を紹介します。なお、口頭発表の発表要旨については、当センターのホームページに掲載してありますので、ご覧いただければ幸いです。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/seika/happyouka.html>

また、ポスター発表した成果の一部は、七月十二日に開催された岐阜県森林研究所の研究成果発表会でも報告しました。

当日の内容

一、口頭発表

①森林・林業におけるリモートセンシング技術の活用

育林部 主任研究員 戸田 堅一郎



口頭発表での質疑の様子

近年のリモートセンシング技術の発達により、高精度な調査を比較的

安価に行うことができるようになったことで、広域に広がる森林の情報取得することが容易になりました。しかし、個々の調査技術は万能ではないため、目的にあわせた解析技術が必要です。そこで、地形判読を容易にするCS立体図の開発や、滑動中の地すべりを特定する干涉SAR解析、松枯れの全県的な分布を把握するNDVI解析などの現地適用をしてみました。今後も現場で使える技術の開発を進めます。

②再造林を安く確実に行うには―造林作業の機械化と下刈り省力化―

育林部 主任研究員 大矢 信次郎

日本の林業において、再造林にかかる経費が高いことが課題になっています。そこで、植栽にあたって行う必要がある地拵え作業を、バケツトやグラップルといった機械で実施する機械地拵えの効果を検証しました。これまでの結果、機械地拵えは人力と比較して、二倍以上の生産性となり、コストの低減につながりました。さらに、バケツトでの地拵えでは植栽当年だけでなく、翌年の下刈りも省略できる可能性があり、うまく組み合わせれば地拵え、植栽、下刈りのコストをこれまでの半分に下げる可能性があります。

③再造林に向けたカラマツ等の種苗供給への取り組み

育林部 研究員 清水 香代

県内で最も多く植栽されているカラマツは、種子の豊凶の変動が激しいために種子の安定供給が難しいことが課題です。カラマツ種子の安定供給に向けて雌花を安定的に着花させるため、光環境を改善する受光伐と幹にらせん状の傷をつけるスコアリング処理を行い、一定の効果が得られました。さらに、生産できた種子を効率よく採取するため、高所作業車を使って種子採種を行ったところ、採取量が二倍以上になりました。

④マツ材線虫被害先端地域で何が起きているのか

育林部 研究員 柳澤 賢一

松くい虫被害の被害先端地域である中信地域の標高八百m以下では、年間約3kmの速度で被害が拡大しており、マツノマダラカミキリ密度が激増することにより、約三年で被害率が五十%を超えることがわかりました。また、激害地ではマツノマダラカミキリが増加する一方で、カラフトヒゲナガカミキリが減少している傾向が観察されましたが、カラフトヒゲナガカミキリが病原体であるマツノザイセンチュウを保持している場合があります。

⑤カラマツ林を活用したハナイグチ(ジコボウ)増殖技術

―ハナイグチの発生と気象環境の関係―

特産部 主任研究員 片桐 一弘

カラマツ林に発生するカラマツ林に発生する代表的な食用きのこであるハナイグチは、林内施業により増殖可能なことが佐久市で行った大規模試験により明らかになりました。そこで、同様の方法が他地域でも有効であるか確認するために、県下六箇所で実証試験を実施したところ、諏訪、安曇野、須坂の三試験地は増殖効果が確かめられました。上田、辰野、阿智の三試験地では発生量が少ないことなどから、増殖効果は確認できませんでした。

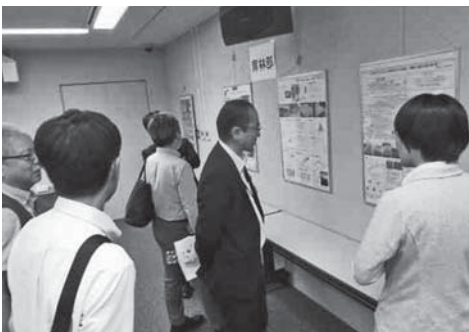
二、ポスター発表

指導部

- 林業遺産って知っていますか？
- チェーンソーの目立ての効果について
- 機械地拵えの方法別特徴と作業工程

育林部

- 百十四年生カラマツ人工林の梢端年



ポスター発表

輪解析による直近数十年間の樹高成長特性

- 地形判読を容易にするCS立体図の開発
- 平面曲率の標準偏差(SHC)を用いた地形評価
- 当年生カラマツコンテナ育苗方法の検討
↳ 植栽一年後の成長(第一報)↳
- 硫黄を有効成分としたカモシカ忌避剤の開発
- 松くい虫被害の被害先端ラインの推定

特産部

- 「香りマツタケ、味シメジ」といわれるホンシメジの栽培
- 菌床シイタケビン栽培技術の開発を目指した培養方法に関する検討

木材部

- きのこ施設栽培におけるヒノキ精油の害菌防除資材としての検討
- 「美味しさ」に着目したきのこ栽培技術の開発
- 技術協力及び依頼分析(木材理化学試験)
- 県産材の屋外利用促進に関する研究
- 大径材から得られる住宅用材等の乾燥及び強度特性の解明と利用開発
- 県産未利用広葉樹の材質解明とその利用

岐阜県森林研究所

- ヒノキ・コンテナ苗による下刈り期間短縮の可能性
- 現状の施設で製造可能なヒノキ材副製品としての床暖房用フローリングの開発

林総セ・北アルプス・諏訪地域振興局

- 成熟しつつあるナラ林からどのくらい用材が生産できるのか？

【林業総合センター 指導部】



第58回飯伊地区乾しいたけ品評会が開催されました



南信州特用林産振興会が主催する飯伊地区乾しいたけ品評会が7月11日に飯田市(飯伊森林組合)で開催されました。

長野県の乾しいたけの約七割近くが南信州地域で生産されており、乾しいたけだけの品評会が開催されているのもここ南信州地域のみ。



特賞
金田和由さんのどんこ

当品評会への出品数も昨年の7割ほどにとどまりました。

しかし、そんな悪条件の中でしたが、生産者の皆さんは見事な乾燥技術を如何なく発揮され、優秀つけがたい良質な乾しいたけを出品されたと、審査員からの好評価をいただけていました。

出品された乾しいたけの中から阿南町の金田和由さんの「どんこ」が特賞の「長野県知事賞」に選ばれました。

出品された乾しいたけは、7月13日に飯伊森林組合の販売会に併せて展示販売されました。毎年、この上等品を目当てに来られるお客さんもいらして、当日中には完売してしまうほどの大盛況でした。



審査



展示販売

林業就業相談会に十人参加

林業の担い手確保に向けて

一般財団法人長野県林業労働財団では、林業の担い手を確保するため、林業に就きたい方を対象に相談会を開催しています。今年度は相談会(二日間コース)を二回、支援講習(十五日間コース)を一回計画し、七月十九日(金)に第一回林業就業相談会を開催いたしました。

相談会には、県内から五人、県外から五人、合わせて十人の方が参加され(女性は一人)、二十代から五十代までの幅広い年齢層で九人が転職希望でした。

相談会の内容は、午前中に信濃町の搬出間伐の現場にて高性能林業機械による作業を見学、現場技能者と意見交換を行いました。午後には長野市の木材市場を視察し、会議室をお借りして個別相談会を行いました。

参加者の方々も、林業の仕事について直接見聞きでき、大変参考になったとのこと意見をいただきました。この内二人の方は、支援講習(募集締め切り)に参加する予定です。また、第二回林業就業相談会を、九月二十七日(金)に予定しており、詳細が決定次第、財団HPへアップいたしますので、林業に就きたいという方がいらっしゃいましたら、是非アクセスしてみてください。(財団URL: <https://nrinrounet/>)

相談会の開催に当たりましては、北信木材センター、長野森林組合の皆様にご協力をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。今後も、相談会を通して、多くの方々、長野県林業の担い手となることを願うところです。



個別相談



現地見学



駅周辺に誕生した複合拠点施設「えんてらす」

令和元年5月、長野県で初となる「構造用CLT」を主要構造部の一部に採用した複合拠点施設「塩尻市北部交流センター『えんてらす』」が完成しました。えんてらすは、JR広丘駅周辺を中心とした、塩尻市



CLTを壁に使った プレイルーム



西側 大屋根

の北部地域におけるコミュニティ活動の拠点として位置付けられている施設で、支所・公民館・子育て支援センター・図書館の機能を備えています。

塩尻市では、国の公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の制定を受け、平成23年に塩尻市公共施設等における木材の利用の促進に関する方針を策定し、これまで多くの公共施設等において木造・木質化に取り組んできております。

えんてらすは、木造一部鉄骨造の地上2階建てで、建築面積約1,760㎡、延床面積約2,170㎡の施設です。支所棟の最大スパン10mを超える大屋根部分は、のぼり梁を方杖で効率よく支持する架構としており、吹抜け部分には方杖の交点が現れることで、印象的な空間を実現しています。また、全ての構造材に県産木材を使用しており、特に図書室の柱・梁は塩尻市産カラマツ集成材を使用することで、豊富な森林資源に恵まれた地域ならではの木造施設となりました。

県内初のCLTについては、塩尻市産カラマツ100%で製作し、建物の中央に位置する子育て支援センターのプレイルームの壁に使用しました。CLT特有の優れた断熱性と遮音性はもとより、内部の現しとして活かすことで木の香りと温もりが五感で感じられる空間となりました。地域の山林で育った樹木に囲まれて行われる子育て支援事業によって、木育の更なる推進と豊かな情操教育の一端を担うものと期待しております。

建物全体で450㎡を上回る木材を使用することとなりましたが、えんてらすの完成を一つの契機と捉え、信州F・POWERプロジェクトの展開と合わせた木質バイオマスエネルギーの普及・拡大、健全な森林・林業再生を図るための森林の管理・環境整備等を更に推進し、森林資源の多面的な活用を図ってまいりたいと考えております。



カラマツ集成材を格子状に組んだ会議室



方杖が連続する支所棟吹抜け



模型写真



塩尻市産材を使った図書室

【塩尻市建設事業部 都市計画課】



木のまちづくりに 品質・性能が明確な

JAS製品を!!

JAS構造材の調達費の一部を助成します。

非住宅建築物に対して、構造部材にJAS構造材を活用すると調達費の一部が助成されます。

【JAS構造材利用拡大事業（林野庁補助事業）】

(<https://www.jas-kouzouzai.jp/>)

信州の木材を暮らしに活用しよう!

県産木材がいい3つの理由。

- ① 信州で育っているから、気候風土に適して丈夫で長持ち。
- ② 信州の林業・木材産業を元気にします。
- ③ 信州の森林の再生・地球温暖化に貢献します。

長野県木材協同組合連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16(長野県林業センター内) TEL:026-226-1471
E-mail:nkenmokuren@siren.ocn.ne.jp <http://kenmokuren.shinshu-kiraku.net/>

令和元年度 長野県木育推進事業

触れて、創って、知る ウッドコレクション

第42回 長野県児童・生徒木工工作コンクール

締切/令和元年 9月27日(金) 審査/令和元年 10月11日(金)

●応募資格/長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

●作品基準/

①テーマ/自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した総作品であること)

②大きさ/1辺が60cm以下(タテ・ヨコ・高さ全て60cm以下)

※ 台を含め60cm以下、展開したり、広げて展示する作品も60cm以下

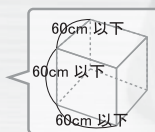
③その他/搬入搬出において、壊れにくいもの(破損した場合の責任は負いません)出来るだけ県産材を活用してください。

※作品の出品については各学校で受け付けております。その他不明点は下記までご連絡いただくか、ホームページまで!

■主催:長野県木材青壮年団体連合会

■共催:長野県/中部森林管理局/(公財)長野県緑の基金/長野県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会

■後援:長野県教育委員会/(一財)長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/
NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社



みんなで
応募しよう!

■お問合せ先

長野県木材青壮年団体連合会 事務局(長野県木連内)

〒380-8567 長野市岡田町30-16 TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

ホームページはこちら →

もくせいれん

検索

**これからの森林組合
を担うために！
令和元年度森林組合
初任者実務研修会開催**

令和元年7月8～10日の3日間、長野県林業センター（長野市）で、森林組合初任者実務研修会が開催されました（主催・長野県森林組合連合会）。

この研修会は、系統組織の健全な発展に資するため、組合運営上必要な実務的知識の涵養を図ることを目的として、主に森林組合に入って日の浅い職員を対象に毎年開催されています。

今年度は、県内の森林組合や地域振興局から26名が参加しました。

研修初日は、アイスブレイクを行った後、まず、長野県林務部の担当者から、「県内の森林・林業を取り巻く状況」について説明が行われました。続けて、長野県森林組合連合会の森林組合監査士から、「森林組合職員として求められること」と題して講義があり、その後、長野経済研究所の講師に

よる、身だしなみや挨拶の方法、電話対応といった、ビジネスマナーの基礎についての講習会が行われました。

2日目および3日目は、同じく森林組合監査士から、会計及び簿記の基礎について講義が行われた後、実際の森林組合会計における仕訳や決算処理の方法について、演習形式で講義が行われました。

研修を受けられた方々には、今回の研修会で培った知識を実際の業務で生かしていただき、今後一層の活躍をされることが期待されます。



演習形式で行われた簿記の研修

**持続可能な
社会を目指して
SDGsを考える
協同組合シンポジウム開催**

令和元年7月16日、長野県JAB（長野市）で協同組合シンポジウム（主催・長野県協同組合連絡会）が開催されました。

本シンポジウムは、県内の協同組合の組合員や役員を対象に、協同組合の価値や重要性、地域コミュニティの再生に果たす役割等、協同組合活動による心豊かな暮らしやすい長野県づくりに向けた学習の一環として毎年「国際協同組合デー」に合わせて開催されています。

本年は、昨年に引き続き、「持続可能な社会づくり」をテーマとして、「2030 SDGs」というカードゲームでSDGs（持続可能な開発目標）を体感し、自身の活動と世界とのつながりを考えました。

シンポジウムでは、一般社団法人イマココラボの榎田綾子氏によるSDGsに関する講義の

後、参加者はチームに分かれて「2030 SDGs」を行いました。

「2030 SDGs」は、世界には様々な価値観を持った人々がいることを前提に、お金と時間を使って、様々なプロジェクトに取り組み、「経済」「環境」「社会」の3つの指標のバランスをとっていく仕組みで、SDGsを達成していく上で生じるであろう世界の状況を疑似体験することができました。

「2030 SDGs」を通して、これからの社会で、SDGsが不可欠である意味や、その必要性を再認識する機会となりました。

森林組合系統は、木材という持続可能な資源を活用して地域経済の活性化を図り、事業を通じて森林をはじめとした環境の保全に資することを目的とされていることから、SDGsで掲げられている17の目標に関して、多くの点で寄与することが期待されています。

本シンポジウムを踏まえて、他の協同組合との連携をより強化し、さらに持続可能な地域社会の発展に寄与することができるよう事業を進めてまいります。

長野県の木材市況

令和元年八月十日発行 長野の林業通巻三五五号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二三七)五〇二五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

電話〇二六(二三六)五六二〇
Eメール rinfukyoo@gga.ocn.ne.jp

第1026回 市況表

(令和元年7月19日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	16,000	10,000	
		直	24~30	13,000	10,000	
ひのき	4.0	直	14~16	13,500	9,000	直造材でお願いします。良材に高値。
		直	18~22	18,000	11,000	
		直	24~28	12,000	10,000	
すざぎ	3.0	直	16	10,000	8,000	3m(φ18cm~φ22cm) 4m(φ24cm~φ36cm) 直材限り需要あり。
		直	18~22	12,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,500	
もみいちい	4.0	直	18上	10,000	7,000	安定的な需要あり。良材に高値。
		直	26	30,000		
		直	18上	18,000	12,000	
なら	4.0	直	30上	13,000	9,500	安定的な需要あり。
		直	14~18	12,000	9,000	
		直	18上	13,000	10,000	
からまつ	4.0	直	18上	13,000	10,000	安定的な需要あり。
		直	30上	13,900	10,000	

出品量 1,750㎡ 販売量 1,750㎡ 落札率 100% 買い方 30社

出品にご協力いただきありがとうございました。
悪天候が続いた影響で、出材の遅れ等から、ひのきが品薄ということもあり、多少の値戻り傾向がみられました。しかしながら、未だ価格低迷の状態は続いています。からまつ材は価格も安定しており、需要がありますので出品よろしくお願致します。
尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。
(*安全のため、荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくお願致します)

第1028回 市況表

(令和元年7月18日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
		直	30上	15,000	12,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格安定。
		直	18~28	19,000	14,000	
		直	4.0~6.0	32~48	88,000	
からまつ	4.0	直	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入お願いいたします。
		直	14~18	13,000	10,000	
		直	20上	16,000	12,000	
		直	14~18	6,000	5,000	
あからまつ	4.0	直	20~40	13,000	7,000	
		直	26~56	12,000	6,000	
あからまつ	5.0~11.0	直	24~34	18,000	8,000	需要期過ぎ価格下げ気味。
		直	26	33,000(一本単価)		
く	4.0~5.0	直	20~48	101,000	13,000	入札活発です。ご購入下さい。
とち	3.0~4.0	直	18~34	26,000	12,000	
く	4.0	直	20~42	67,000	12,000	
みずめ	4.0	直	18~34	32,000	16,000	
さくら	2.0~4.0	直	26~40	30,000	12,000	

出品量 2,860㎡ 販売量 2,620㎡ 落札率 92% 買い方 32社

天候不順のなか多量出品いただき感謝申し上げます。
今回の市売り、広葉樹を中心に応札も活発で活気ある市売りとなりました。
8月3日(土)当センターにてイベントを開催いたしますので、計量による受入れが出来ませんのでご了承ください。

第1060回 市況表

(令和元年7月17日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	
		直	20上	13,500	11,000	
すざぎ	4.0	直	8~13	5,500	4,500	需要あり。積極的に出品願います。需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~20	12,500	10,000	
		直	22~28	14,000	11,500	
すざぎ	4.0	直	30上	18,000	12,000	需要あり。積極的に出品願います。需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~18	8,000	5,500	
		直	20上	11,000	8,500	
からまつ	4.0	直	6~13	11,000	6,000	需要あり。積極的に出品願います。需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~18	12,500	9,000	
		直	20上	16,000	14,000	
からまつ	4.0	直	30上	20,000	14,500	需要あり。積極的に出品願います。需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~18	6,000	5,000	
		直	20上	14,000	13,500	
ひのき	3.0	直	18-22	18,000	15,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。需要増。出品願います。
		直	16~18	17,000	14,000	
		直	20~28	28,000	15,000	
ひのき	4.0	直	30上	56,000	16,000	需要増。出品願います。問合せ増。出品願います。
		直	20上	14,500	12,000	
		直	20上	14,500	12,000	
く	4.6	直	60	40,000		
ほお	3.8	直	34	25,000		
く	3.0	直	60	49,000		
とち	2.0	直	36	15,000		

出品量 5,023㎡ 販売量 4,909㎡ 落札率 98% 買い方 45社

今回は、梅雨明けを期待させる様な日差しの中、多くのお客様にご来場いただき賑やかな市売りとなりました。
市況として、カラマツについては高値で安定しており、今後もこの価格は続く見込みとなっております。スギについては横ばい傾向が続いている状況ですが、良材には高値が見られました。どちらも引き続き、丁寧な造材にてご出品願致します。特に、これからの時期の剥皮による測尺の狂いには十分ご注意ください。
広葉樹については、新材でも応札少なく厳しい状況でした。新材といえども価格的には冬場に比べかなり安くなってあります。これからの時期はカビや割れ等の欠点が出やすくなりますので、広葉樹全般、極力伐採を控えるようお願い致します。もし伐採される場合には、事前のご相談をお願いします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の)納品書の提出をお願いします。

第513回 木材共販市況表

(令和元年7月11日実施)



出品量 1,500㎡・買い方 10社・落札率 96.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	2.0	元直	26~36	25,000	12,000	3,360	
			14	12,000	8,000	2,240	
			16	13,000	11,000	3,080	
		3.0	直	18~24	18,000	16,000	4,480
			直	26~28	16,500	15,000	4,200
			直	30上	25,000	16,000	4,480
	4.0	中直	16~22	15,000	13,000	3,640	
			直	24~28	15,000	13,000	3,640
			直	30上	16,000	15,000	4,200
		6.0	元	16~22	18,500	16,000	4,480
				24~28	25,000	18,500	5,180
				30上	33,000	28,500	7,980
4.0	中直	12~14	12,000	8,000	2,240		
		直	16~22	15,500	15,000	4,200	
4.0	直	24~28	17,500	15,000	4,200		
		直	18	25,000			
すざぎ	4.0	直	16~18	9,500	8,000	2,240	
			直	20~22	10,500	9,500	2,660
すざぎ	3.0	直	24~28	12,000	11,000	3,080	
			30上	12,500	11,500	3,220	
			直	18~22	9,000	8,000	2,240
すざぎ	3.0	直	24~32	9,500	8,500	2,380	
			直	14~22	7,500	5,500	1,540
からまつ	4.0	直	12~14	6,500	5,000	1,400	
			直	16	8,500	6,000	1,680
			直	18~28	13,000	11,500	3,220
			直	30上	13,500	12,000	3,360
			直	14~30	5,000	4,000	1,120

総評

全体に出材少なく、低調
ひのき、出荷少なく、時期的に質も悪く低調。
すざぎ、出荷あるが、価格は伸びず。
からまつ引き合いあり、出荷量少ない。価格は横ばい。
引き続き出荷の協力をお願いいたします。